

CUBE 音声コール率の設定例

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定の概要](#)

[ヒストグラム形式の出力例](#)

[表形式の出力例](#)

[関連情報](#)

概要

Cisco IOS® ソフトウェア リリース 15.2(2)T で、表またはヒストグラムの形式で CUBE の音声コール レートを表示する **show voice call rate** コマンドが追加されました。これにより、60 秒の間に行われたコールについて優れたコール モニタリング機能が提供されます。シスコでは今後、**show ISDN call rate** コマンドの動作に合わせてこの期間を 60 分、さらには 72 時間に延長する予定です。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、ソフトウェア バージョン、Cisco IOS ソフトウェア リリース 15.2(2) に基づくものです。

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

設定の概要

```
!--- CLI to enable or disable voice call rate. !--- By default voice call rate will be enabled.
CUBE(conf)#voice service voip CUBE(conf-voi-serv)#voice ? call enable voice call related
information CUBE(conf-voi-serv)#voice call ? rate to enable voice call rate related information
CUBE(conf-voi-serv)#voice call rate ? monitor enable voice call rate monitoring CUBE(conf-voi-
serv)#voice call rate monitor !--- CLI to display the voice call rate. CUBE#show voice call ?
rate voice call-rate in seconds CUBE#show voice call rate ? table voice call-rate in tabular
format | Output modifiers <cr> CUBE#show voice call rate CUBE#show voice call rate table
```

ヒストグラム形式の出力例

- 上記の図では、4 秒目で 15 本のコール レッグが作成されています。同様に、28 秒目で 14 個のコール レッグが作成され、43 秒目で 6 個のコール レッグが作成されています。
- Y 軸は動的です。つまり、システムの CPS が 100 を超える場合は Y 軸が動的に計算されます。

表形式の出力例

- [Period] は 5 秒間の間隔を示します。
- [Actual] は 5 秒間の期間において作成されたコール レッグの数を示します。
- [Average] は 5 秒間の期間において作成されたコール レッグの平均数が定義されています。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)